2027年3月期第2四半期
決算説明会

Fiscal Year Ending March, 2027
2Q Financial Results

2026年11月6日
株式会社エフテック
証券コード：7212

「エフテック」で検索
https://www.ftech.co.jp

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

アウトライン

1 決算概要

Financial Summary

2 第16次中期経営計画概要

16th Mid-Term Business Plan Summary

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

アウトライン

1 決算概要

Financial Summary

2 第16次中期経営計画概要

16th Mid-Term Business Plan Summary

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

連結決算概要（前年同期比）

（単位：百万円）

	2026年3月期 2Q実績		2027年3月期 2Q実績		増減	
売上高	142,094	100.0%	155,513	100.0%	13,419	9.4%
営業利益	2,848	2.0%	4,354	2.8%	1,506	52.8%
経常利益	1,824	1.3%	3,701	2.4%	1,877	102.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	299	0.2%	2,272	1.5%	1,973	659.0%
1株利益(円)	16.12	–	122.42	–	106.29	–

換算レート

通貨	2026年3月期 2Q実績	2027年3月期 2Q実績	増減
1 US$	146.09円	160.05円	13.96円
1 CAN$	105.78円	114.63円	8.85円
1 人民元	20.35円	23.12円	2.77円

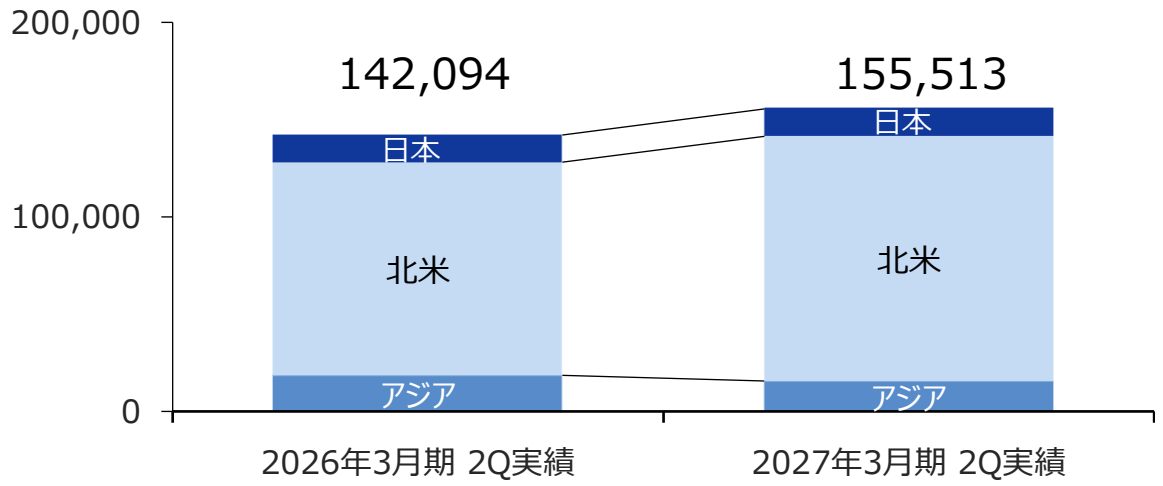
増収増益、北米は販売台数増加

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

連結売上高（前年同期比）

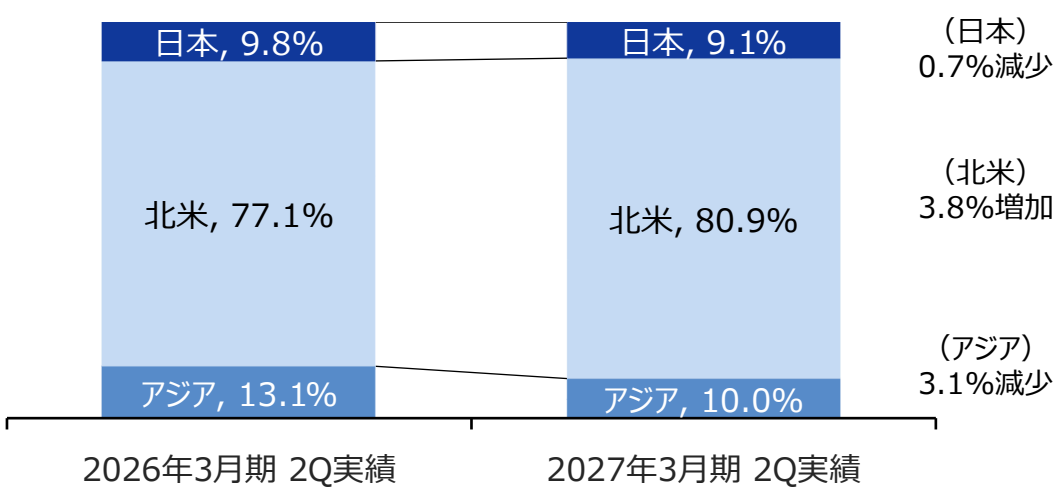
セグメント別連結売上高

（単位：百万円）



売上高シェア

（単位：%）



	2026年3月期	2027年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	13,960	**14,088**	128	0.9%	–	128	0.9%
北米	109,579	**125,778**	16,199	14.8%	10,178	6,021	5.5%
アジア	18,554	**15,647**	▲2,907	▲15.7%	1,140	▲4,047	▲21.8%
連結	**142,094**	**155,513**	**13,419**	**9.4%**	**11,318**	**2,101**	**1.5%**

北米での生産台数増加及び円安影響により増収、中国は減産継続で減収

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

セグメント別営業利益（前年同期比）

（単位：百万円）

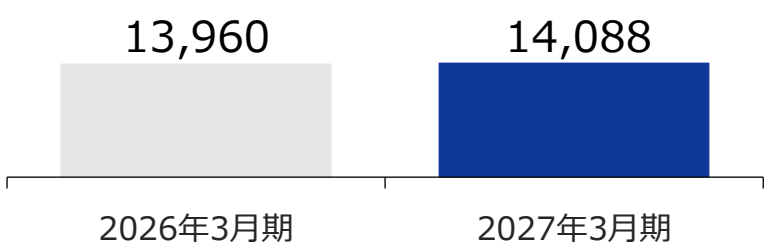
	2026年3月期2Q実績	2027年3月期2Q実績	増減		為替影響	実質増減	
			金額	増減率(%)		金額	増減率(%)
日本	▲85	**15**	100	–	–	100	–
北米	2,760	**3,747**	987	35.8%	283	704	25.5%
アジア	200	**238**	38	18.7%	▲37	75	37.7%
合計	**2,874**	**4,001**	**1,126**	**39.2%**	**246**	**880**	**30.6%**
調整	▲26	**352**	379	–	–	379	–
連結	**2,848**	**4,354**	**1,506**	**52.8%**	**246**	**1,259**	**44.2%**

全セグメントで黒字化

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

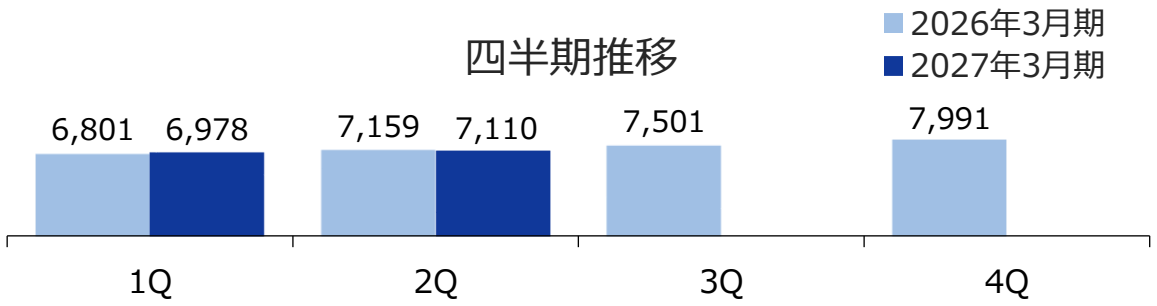
セグメント別連結業績（日本）

売上高



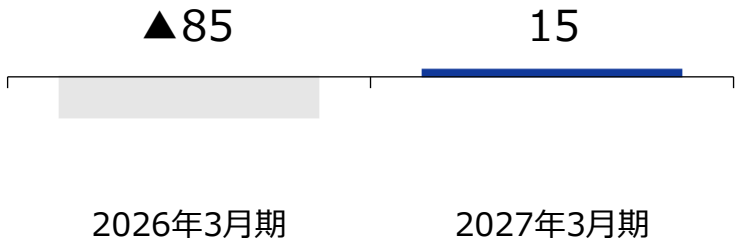
増減額	128
増減率	0.9%
為替影響	–
実質増減	128
実質増減率	0.9%

	増減理由	
1	製品売上減少	▲626
2	商品売上減少（Gr向け金型設備売上）	▲2,326
3	技術収入売上増加（ロイヤリティー、開発費、他）	830
4	国内子会社売上増加	656
5	内部消去	1,594
	合計	**128**



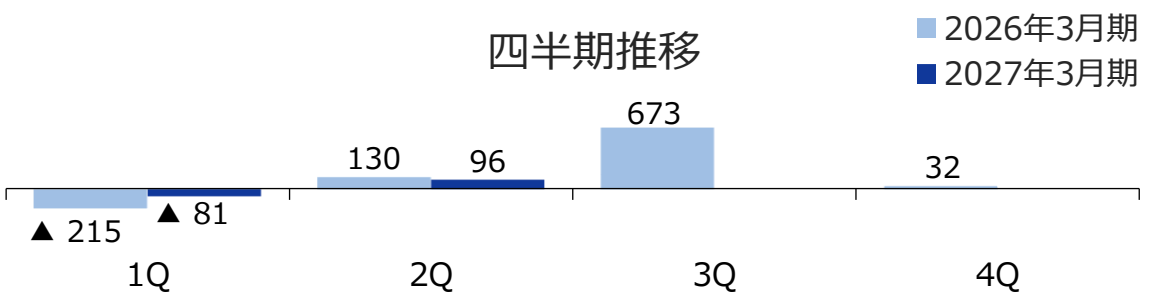
営業利益

（単位：百万円）



増減額	100
増減率	–
為替影響	–
実質増減	100
実質増減率	–

	増減理由	
1	製品売上減少影響	▲102
2	商品売上減少影響	▲338
3	技術収入売上増加影響	597
4	国内子会社増加影響	166
5	販管費増加	▲223
	合計	**100**



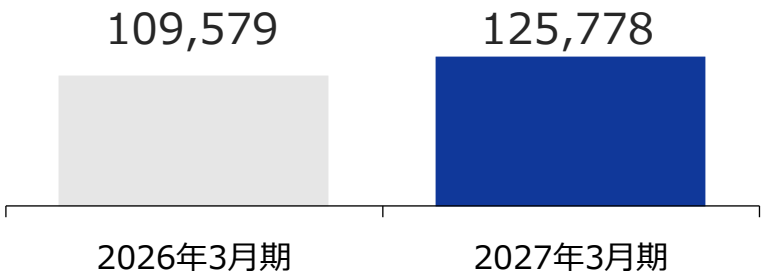
製品売上、海外Gr向け金型設備売上減少も、ロイヤリティ売上増加により増益

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

セグメント別連結業績（北米）

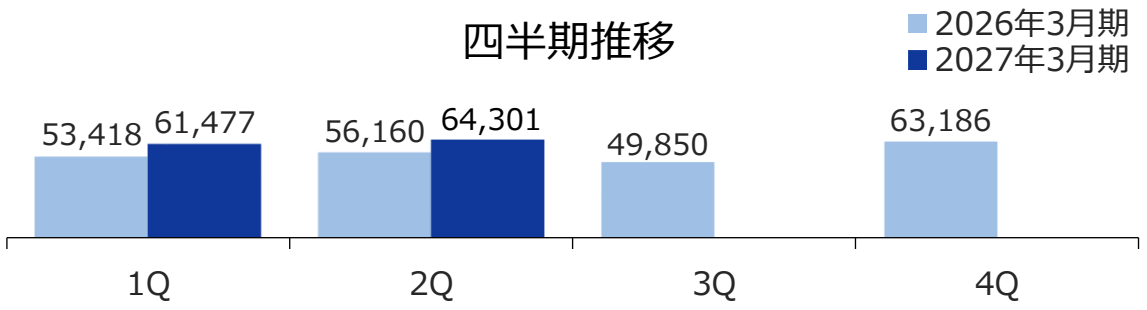
（単位：百万円）

売上高

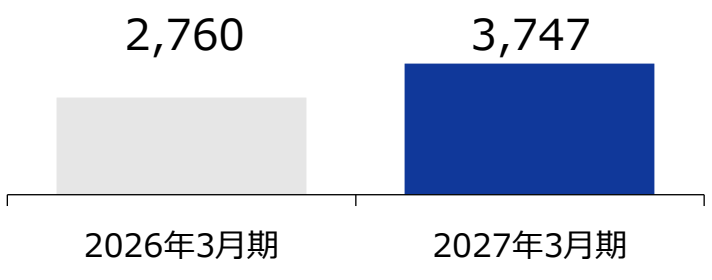


増減額	16,199
増減率	14.8%
為替影響	10,178
実質増減	6,021
実質増減率	5.5%

	増減理由	
1	製品売上増減	7,880
2	商品売上増減	▲1,860
3	為替影響（USD 146.09 ⇒ 160.05　13.96円安）	10,178
	合計	**16,199**

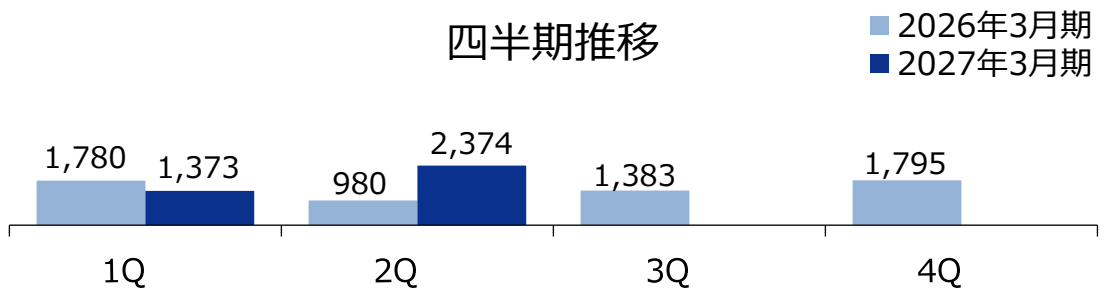


営業利益



増減額	987
増減率	35.8%
為替影響	283
実質増減	704
実質増減率	25.5%

	増減理由	
1	製品売上増減影響	873
2	商品売上増減影響	▲654
3	ロイヤリティー・開発費増加	▲873
4	特殊要因（一過性の収益増加）	1,358
5	為替影響	283
	合計	**987**

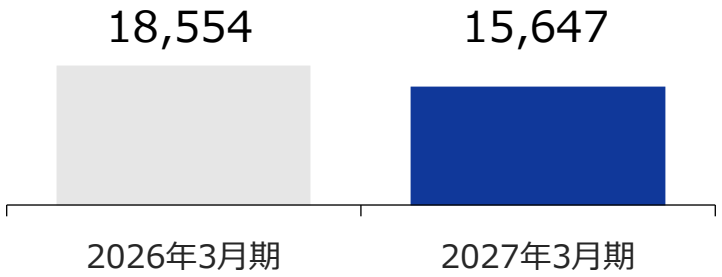


円安による増収、米国の生産台数増加により増益

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

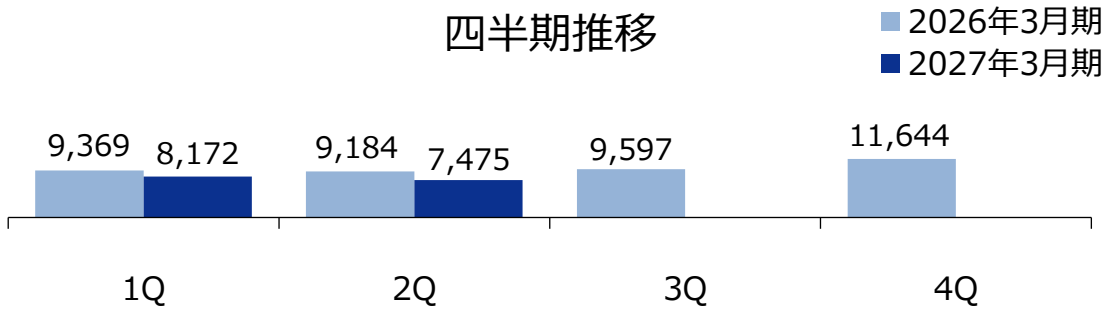
セグメント別連結業績（アジア）

売上高



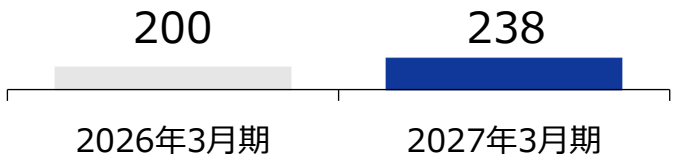
増減額	▲2,907
増減率	▲15.7%
為替影響	1,140
実質増減	▲4,047
実質増減率	▲21.8%

	増減理由	
1	中国地域の増減	▲3,948
2	ア大地域の製品売上増減	452
3	ア大地域の商品売上増減	▲551
4	為替換算影響	1,140
	合計	**▲2,907**



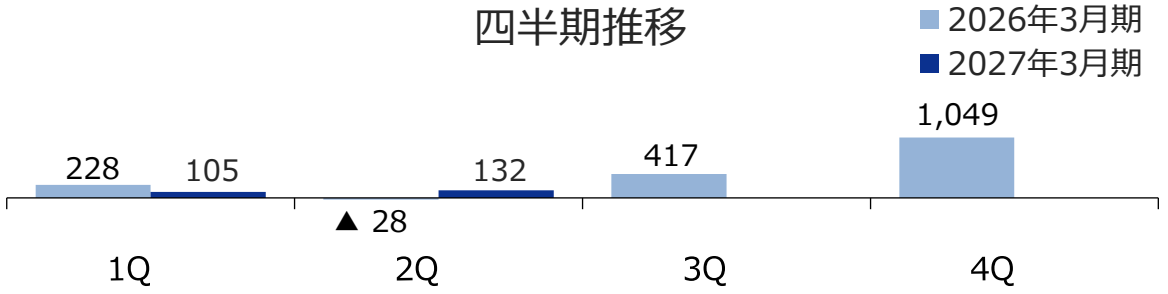
営業利益

（単位：百万円）



増減額	38
増減率	18.7%
為替影響	▲37
実質増減	75
実質増減率	37.7%

	増減理由	
1	中国製品売上減少影響	▲238
2	ア大製品売上増減影響	174
3	ア大商品売上増減影響	▲243
4	原価改善	382
5	為替影響	▲37
	合計	**38**

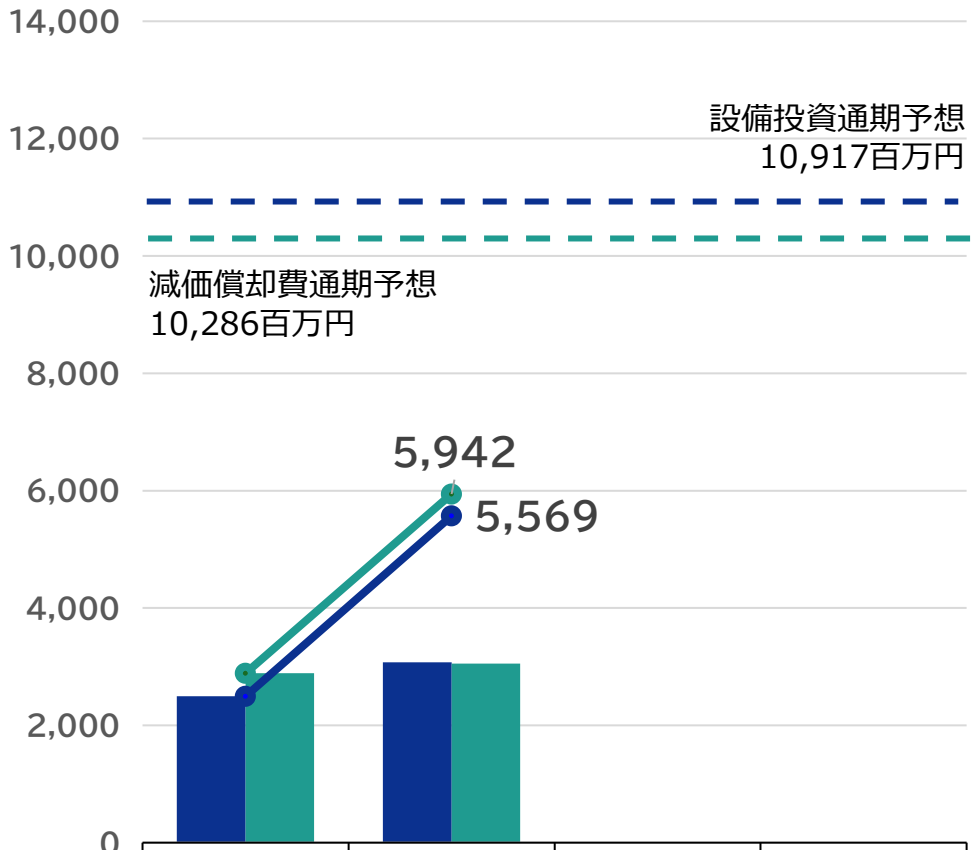


中国の減産影響を主要因に減収も原価改善により増益

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

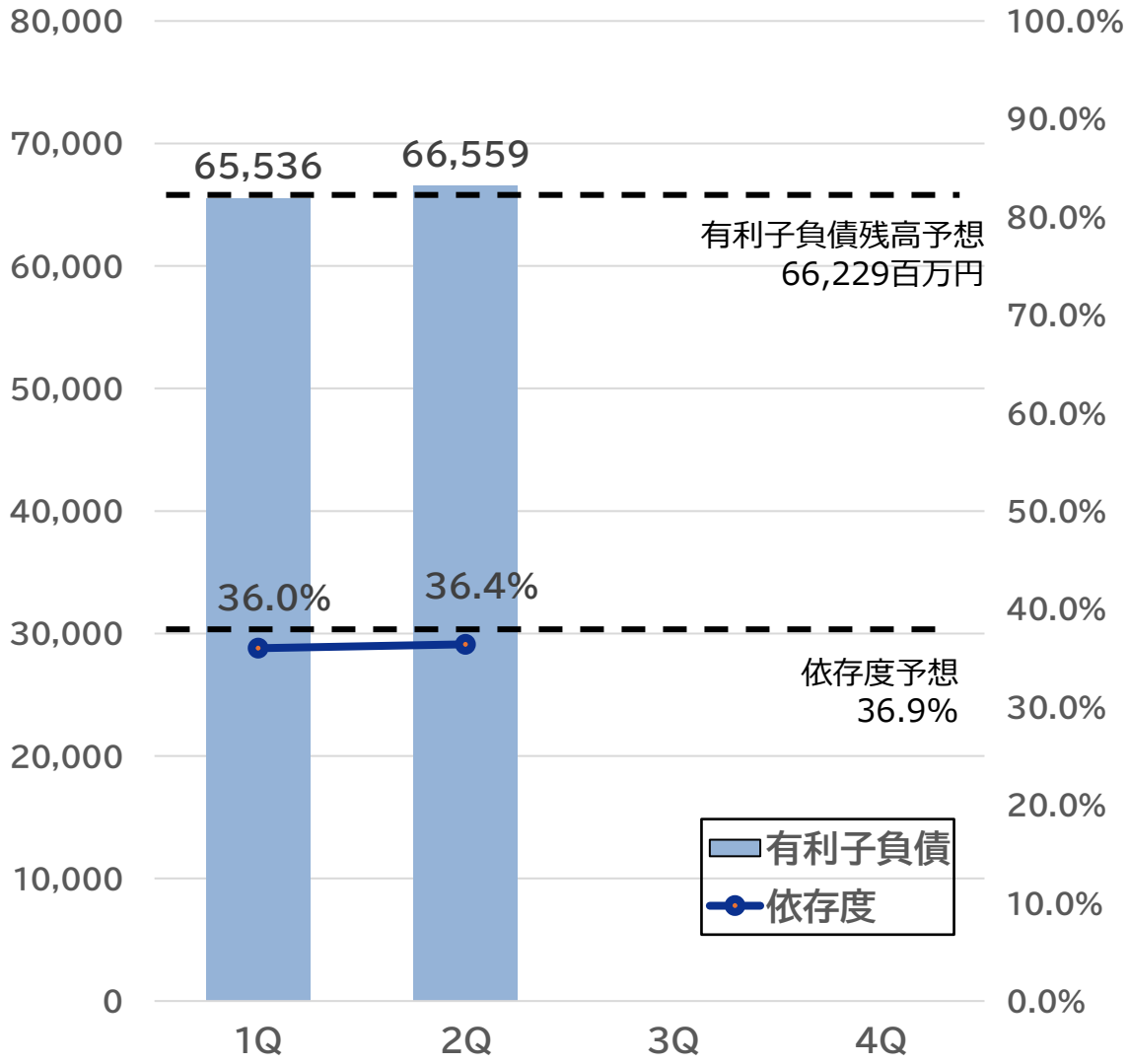
財務の状況

設備投資と減価償却費実績推移



	1Q	2Q	3Q	4Q
投資Q別	2,495	3,074		
償却費Q別	2,888	3,054		
投資累計	2,495	5,569		
償却費累計	2,888	5,942		

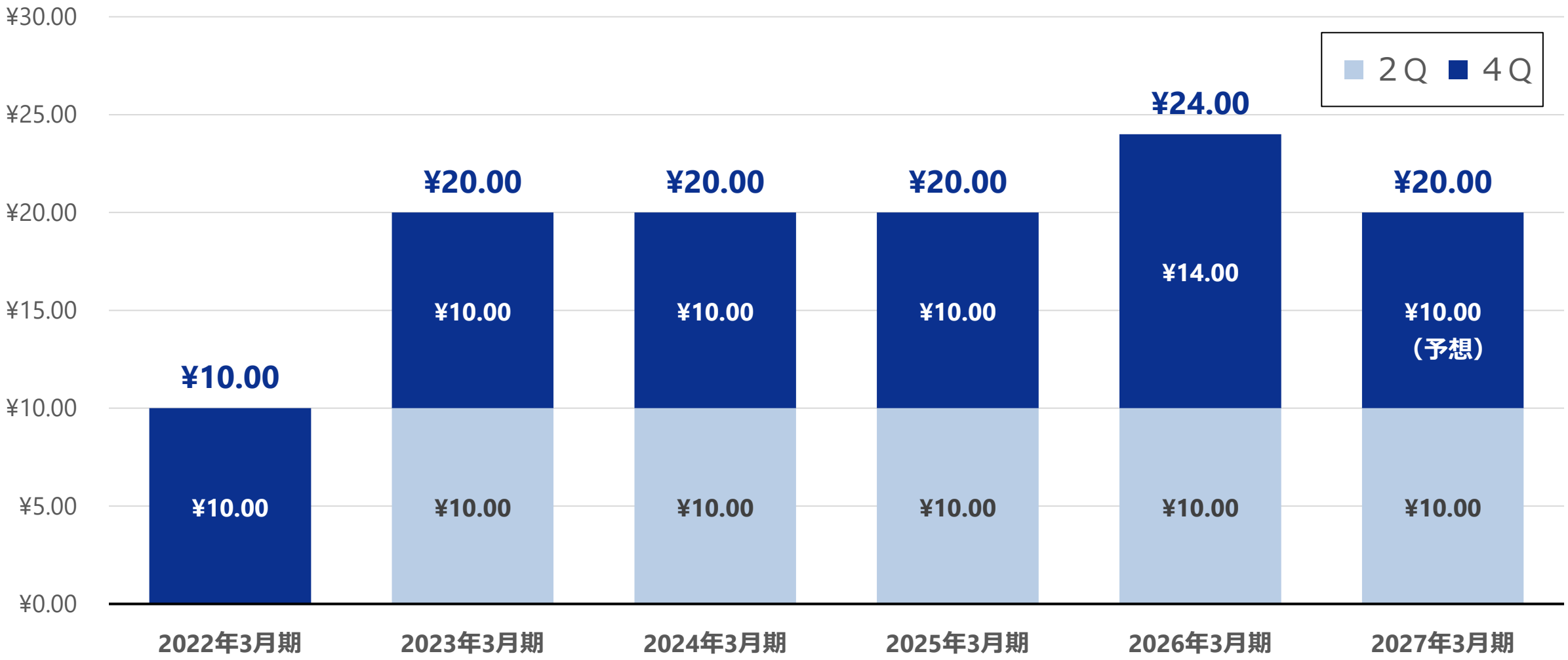
有利子負債残高･依存度推移



Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

配当金の状況

1株当たり配当金



Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

アウトライン

1 決算概要

Financial Summary

2 第16次中期経営計画概要

16th Mid-Term Business Plan Summary

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

トップメッセージ

変化を力に、予測不能な時代を、全員の力で勝ち抜く。

人財を起点に、2つの実行軸で「選ばれ続ける」存在へ

01 起点

人財

すべての価値創造の源泉

実直に、諦めず、粘り強く、やり抜く

プロフェッショナリズム
×
オーナーシップ

02 2つの実行軸

変化への対応力

Back to Basics

稼ぐ力の向上による財務健全化

Challenge for New

持続的成長のための基盤づくり

03 目指す姿

選ばれ続ける

「エフテックに任せておけば安心」と、
世界中のお客様から信頼される存在、
かけがえのない存在へ

持続可能なモビリティ社会の実現

「人」を起点に、「2つの実行軸」を基盤に、グローバルで価値を創造する

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

価値創造プロセス

INPUT
6つの資本

1 財務資本

2 製造資本

3 知的資本

4 人的資本

5 社会・関係資本

6 自然資本

BUSINESS MODEL
エフテックの価値創造活動



エフテックの競争優位性 4つの強み

商品開発力



生産技術力



国際競争力



顧客要求への対応力



OUTPUT
製品価値





サブフレーム



サスペンション



ペダル

OUTCOME
社会にもたらす価値



安心安全な製品提供



移動快適性の提供



環境に配慮した製品の提供



グローバル社会への貢献

GOAL
持続可能なモビリティ社会の実現

創出価値を次なる成長へ循環

価値創造を支える基盤

社是・理念・行動指針
企業文化の基礎

サステナビリティ基本方針・各種方針
社会課題の解決と企業価値向上へ

ガバナンス体制
透明性のある経営

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

第15次中期経営計画の振り返り

第15次中計の目標・実績

指標	売上高	営業利益	営業利益率	Net Debt ／ EBITDA 倍率	EPS
最終年度目標	3,000億円	80億円	2.7%	3.1倍以下	175円以上
最終年度実績	2,918億円	84億円	2.9%	2.37倍	254.5円

達成した主な成果

- **営業利益目標を達成**
- **財務体質の改善**
- **構造改革の進展**
- **収益力の基盤強化**

第16次中計へ持ち越す主な課題

- **米国事業の収益改善**
- **中国NEV対応**
- **価格転嫁の徹底**
- **収益力の質的向上**

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

第16次中期経営計画の概要

全社方針	変化への対応力を磨き持続的に企業価値を高める		
全社目標	営業利益 100億円	当期純利益 55億円	ROE 8%

※親会社株主に帰属する当期純利益

Back to Basics

- モノづくりの本質追求
- 最小投資で最大利益を創出
- ガバナンス強化
- 人財マネジメントの確立

稼ぐ力の土台をさらに強固にし、収益力と資本効率を最大化します

2つの軸で持続的な企業価値向上へ

Challenge for New

- 拡販のための営業・開発力強化
- 新技術の活用・新分野の開拓
- インドビジネスの拡大
- CN実現に向けた具体化

成長機会を拡大し、新たな価値創出と持続的な成長を実現します

第16次中計期間（2026年4月～2029年3月）

	1	2	3
Back to Basics 稼ぐ力の土台強化	モノづくり基盤の強化 コスト競争力の向上	収益力の底上げと 安定収益基盤の確立	収益性の向上と 資本効率の改善
Challenge for New 成長機会拡大	コア技術の高度化と 新領域探索	成長領域への重点投資と 事業ポートフォリオの拡充	新事業の拡大と グローバル展開の加速

2030年に向けた到達イメージ

- 収益力の向上
- 成長領域の拡大
- 持続的な企業価値向上

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

第16次中期経営計画の主要施策　～Back to Basics～

現場改善を積み上げ、収益力の底上げにつなげる

実践エンジン：現場発の改善サイクルを加速する仕組み

経営モニタリング会議



現場課題を起点に、部門横断で解決策を協議・実行

拠点間改善支援



優れた改善事例を他拠点へ展開し、底上げを実現

人財交流



人の交流を通じて、知見・意識・文化を共有

取り組みを支える基盤

ガバナンス強化

人財マネジメントの確立

現場力の最大化へ



実行力の強化
課題解決のスピードや質を向上し、現場の自走力を強化



再現性の向上
標準化と横展開により成果の再現性と持続性を確保



全体の底上げ
拠点・部門を超えた連携で、全社の改善力を底上げ

収益力の持続的な底上げへ

現場改善の積み上げを、
収益体質の改善と企業価値の
向上につなげます。

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

第16次中期経営計画の主要施策　～Challenge for New～

新たな市場と技術への挑戦で、成長機会を広げる

次世代製品ラインナップの拡充



- 軽量化サブフレーム
- 高剛性・軽量化サスペンション
- 次世代ペダル
- 非車載部品

高付加価値化の推進

差別化技術

》 価値向上

- EVバッテリー保護技術
- 耐久性・品質信頼性向上
- 軽量化による燃費向上
- 振動低減による快適性向上

新技術の活用

自社開発
非破壊検査機
（NDT）



- 高精度・高速検査
- AI活用による異常検知強化
- 工程内検査で品質・コスト改善

インドビジネス展開

インド市場

・都市化により自動車需要が拡大
・世界最大級の人口・成長市場
・豊富な若年労働力

- 新会社設立による競争優位性を発揮
- 現地サプライヤーとの連携強化
- 営業×開発を現地展開

価値創造プロセス

新技術・新分野への挑戦
- ・独自技術の進化
- ・新市場ニーズの探索
- ・アライアンス・協業推進

受注拡大
- ・新規顧客の獲得
- ・既存顧客との取引拡大
- ・高付加価値案件の増加

売上成長
- ・新規ビジネスによる増収
- ・収益性の向上
- ・事業ポートフォリオ拡張

企業価値向上
- ・持続的な利益成長
- ・資本効率の向上
- ・ステークホルダー価値の最大化

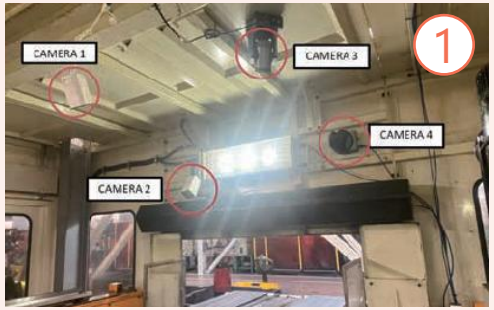
Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

第16次中期経営計画の主要施策　～Challenge for New～

持続的成長のための基盤づくりの紹介

海外挑戦　AI外観検査（Vision Inspection）

2つの工程におけるAI外観検査の試験的導入





①プレス単品のAI外観検査

・プレス機内にカメラ4台設置

・穴の欠落やクラックなどを検出

② 溶接完了品のAI外観検査

・ロボットにカメラを搭載

・溶接部の多視点検査を検証

国内挑戦　日本の新事業内容

リパーパスバッテリー搭載型トレーラーハウスの開発







・埼玉県「サーキュラーデザインリーディングモデル構築支援補助金」認定

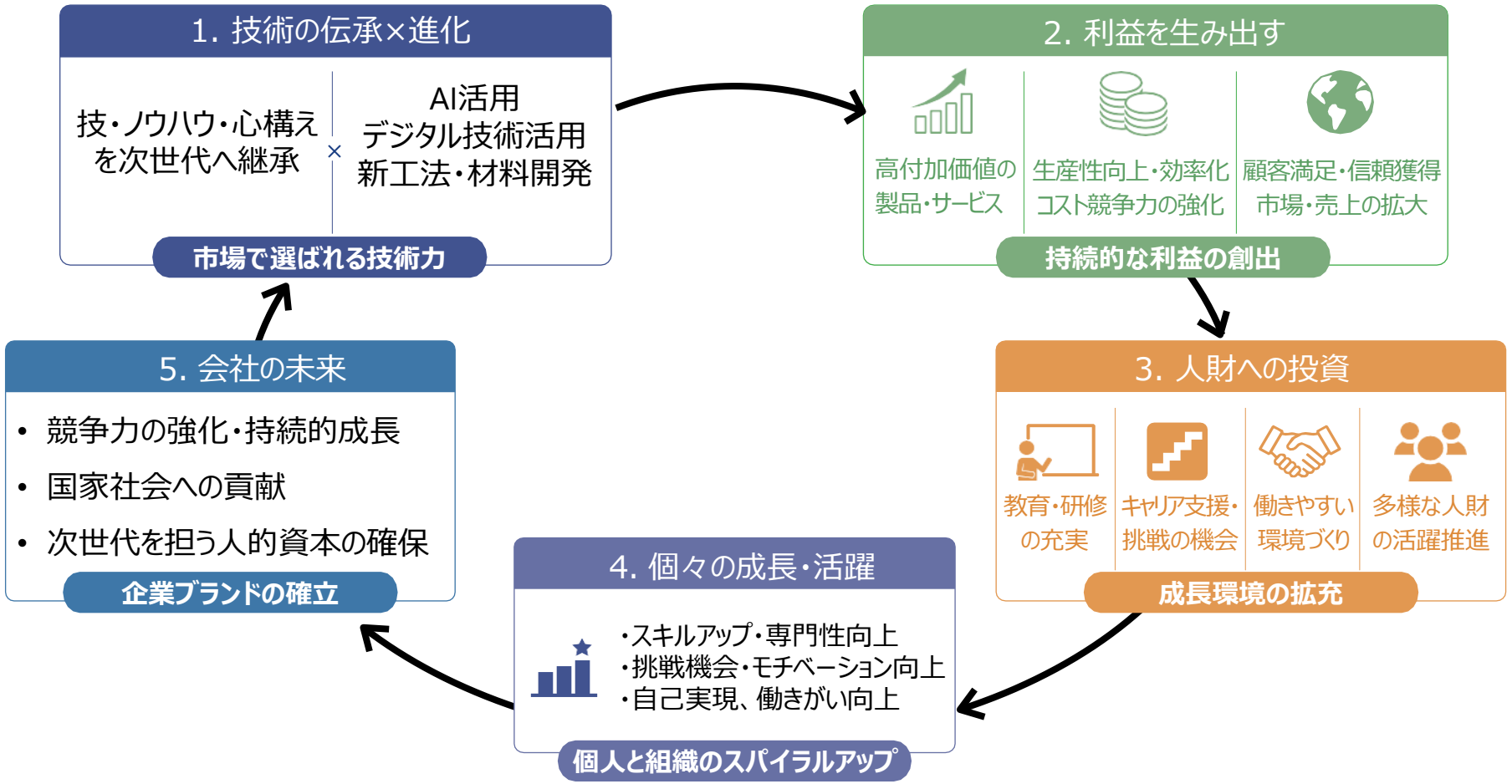
・使用済み車載バッテリーを再利用したトレーラーハウスを開発

・2026年2月 プロトタイプ完成

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

人的資本経営の推進　－人財への投資を通じて、持続的な成長を実現する－

エフテックの目指す姿（会社と個人のWin-Winの好循環）



「企業価値の向上」と「働きがい」の両立

人財マネジメント構築に向けた6つの重点領域

1 基盤	・新人事制度の導入 ・成長基盤整備
2 採用	・多様な人財の確保
3 育成	・教育投資強化 ・専門性/主体性向上
4 配置	・タレントマネジメント ・適所適財の実現
5 環境	・職場環境の更なる整備
6 組織	・エンゲージメント向上 ・組織力強化

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

カーボンニュートラルの実現に向けて

エフテック カーボンニュートラルチャレンジ

フェーズ：省エネ・高効率化/製品への取り組み → 他産業・サプライチェーン連携強化

目標：2035年 Scope1/2 製造領域カーボンニュートラル達成

開発・EG・製造領域

これまでの主な取り組み

2026年4月本格稼働



亀山事業所へ太陽光パネルを設置

- 製品の燃費性能向上・軽量化
- 省エネの取り組み
- ISO50001の活用
- 低CO2電力の導入

第16次中計の主な取り組み

管理	カーボンフリー・再エネ電源の拡大 Scope3の算定確立
生産	CO2排出総量の低減 CO2排出原単位の改善

中長期の取り組み

- 軽量かつ低CO2排出仕様の提案
- Scope1のCO2排出量ミニマム化

2025 → 2035

※EG：エンジニアリング
※CN：カーボンニュートラル

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

営業・開発戦略

目指すゴール

3年間で

250

億円以上

新規ビジネス獲得

01	**既存メーカーの新規車種受注**	ホンダ・GM・トヨタ・米系EV・スズキ等
02	**新規メーカーの開拓・受注**	欧州系・中国系メーカー等
03	**非車載領域でのビジネス開拓**	
04	**新技術の展開・進化**	
05	**設計基本構想へのAI活用**	

非車載領域に挑戦し、事業領域の枠に捉われない、ビジネス獲得を目指します

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

上半期の受注･生産開始車種（2026年4月～9月）

受注車種

3社 ／ **11 車種**

日本	5 車種
アメリカ	3 車種
メキシコ	2 車種
タイ	1 車種

生産開始

3社 ／ **5 車種**

日本	3 車種
中国	2 車種

生産開始の内訳

ホンダ向け	1車種
日産向け	2車種
中国新規メーカー向け	2車種

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

資本効率の向上に向けて

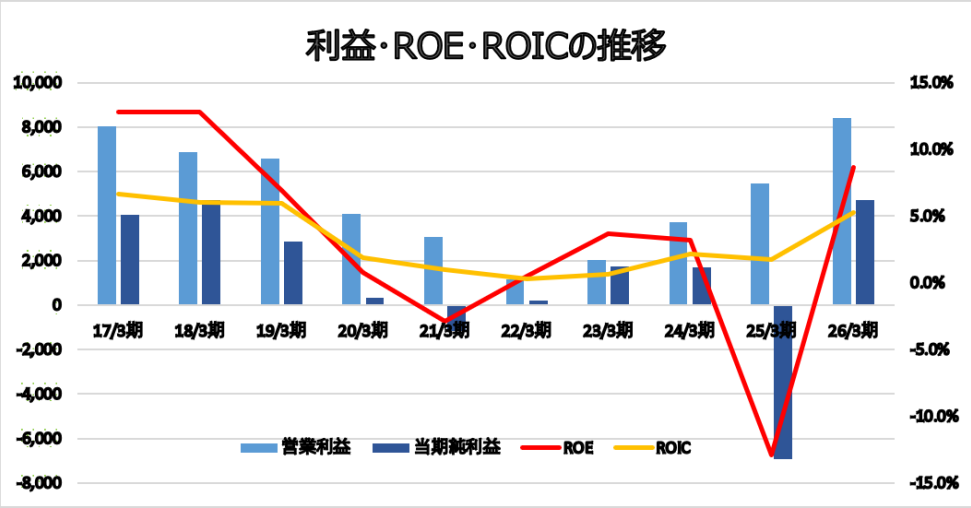
資本効率に対する基本的な考え方

当社は、事業・投資判断の軸として、中長期的に資本コスト(WACC)を上回るROICの実現を目指します。
ROICの向上を通じて、株主視点の指標であるROEの安定確保と向上につなげます。

※当社のWACCは、6.5%-7.2%程度と認識しております。2026年3月期時点のROIC（運用ベース）は5.27%、ROEは8.62%です。

第16次中期経営計画における方向性

営業利益100億円・当期純利益55億円の達成に向け、利益創出力の強化と投下資本の効率化によりROICを高め、ROE8%以上を安定的に確保できる収益基盤を構築します。あわせて有利子負債の削減による財務体質の改善を進め、中長期的なROIC＞WACCの実現と持続的な企業価値向上を目指します。



単位：百万円（左軸）／%（右軸）

向上施策

① 利益創出力の強化：
営業利益率の改善

② 投下資本の効率化：
運転資本の圧縮・投資の選別

→ **ROICの向上**
中長期的に
WACC超を目指す

→ **ROE8%以上**
安定確保と
さらなる向上

③ 財務基盤の強化： 有利子負債の削減による財務体質の改善

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

キャッシュアロケーション

資本配分方針

営業CFを主たる原資とし、有利子負債の削減による財務健全性を確保しつつ、投資回収の確度とROICを見極めたうえで、成長市場・重点顧客向けの開発・設備・DX・M&A投資を実行し、インドR&D拠点の新設や米国工場の拡張などで将来の収益基盤を拡大します。人財への投資も進めながら、成長に裏付けられた安定的・継続的な株主還元を実現します。

原資	配分		主な内容
営業CF	開発・設備・DX・M&A投資	成長投資・新機種投資	成長市場・重点顧客向けの投資（インドR&D拠点、米国工場拡張等）／ 生産性・収益性を高める投資（工場自動化・ITシステム刷新等）／ 非車載分野への投資
		更新投資	生産設備・拠点の維持更新／品質・安定供給の維持／環境・安全・法令対応
	財務健全性の確保		財務健全性強化に向けた有利子負債の削減
外部資金調達 （必要に応じて）	人的資本への投資		人財ポートフォリオの最適化／専門人財の採用・育成／処遇制度の整備 次世代リーダーの計画的育成／多様な人財が能力を発揮できる組織
その他キャッシュ	株主還元		成長投資および財務健全性とのバランスを踏まえ、安定的・継続的に充実

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

配当方針について

従来

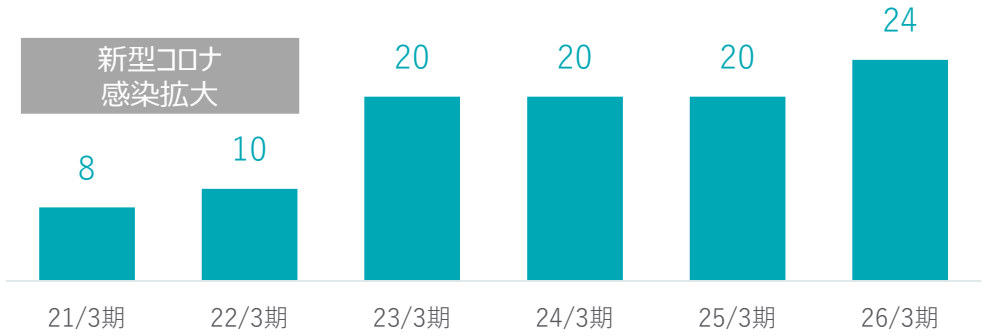
当社の利益配分に関する基本方針は、業績に基づく利益還元を基本としています。株主の皆様への還元を重要視しており、財務体質の強化を図りながら利益の状況、将来の事業展開など長期的な視野に立って皆様への利益還元を図ってまいります。

配当方針

年間20円を下限

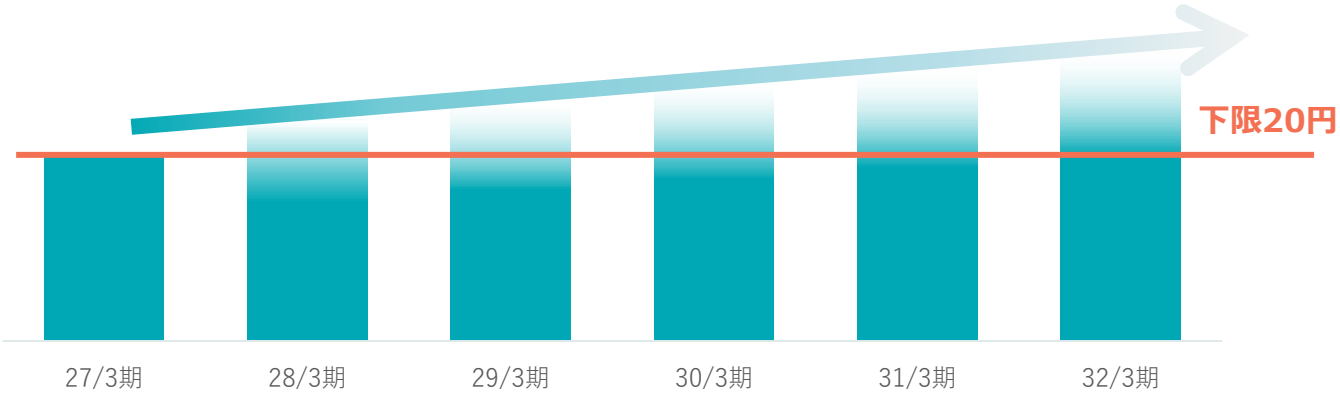
当社は株主還元を重視し、1株当たり年間20円を下限とする安定的・継続的な配当を基本とします。収益力の向上と財務改善を前提に、配当金の段階的な引き上げを目指します。

配当実績　1株当たり配当（円）



目指す姿（将来イメージ）

第16次中期経営計画　　第17次中期経営計画　以降



収益の一部を有利子負債の縮減に優先的に充当し、財務基盤の強化を進めます。

利益成長と財務体質の改善に応じて配当を拡充。業績・財務状況等を総合的に勘案し、将来的に配当倍増を目指します。

※将来の棒グラフは方向性イメージであり、具体的な配当予想を示すものではありません。

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

米国オハイオ工場の拡張

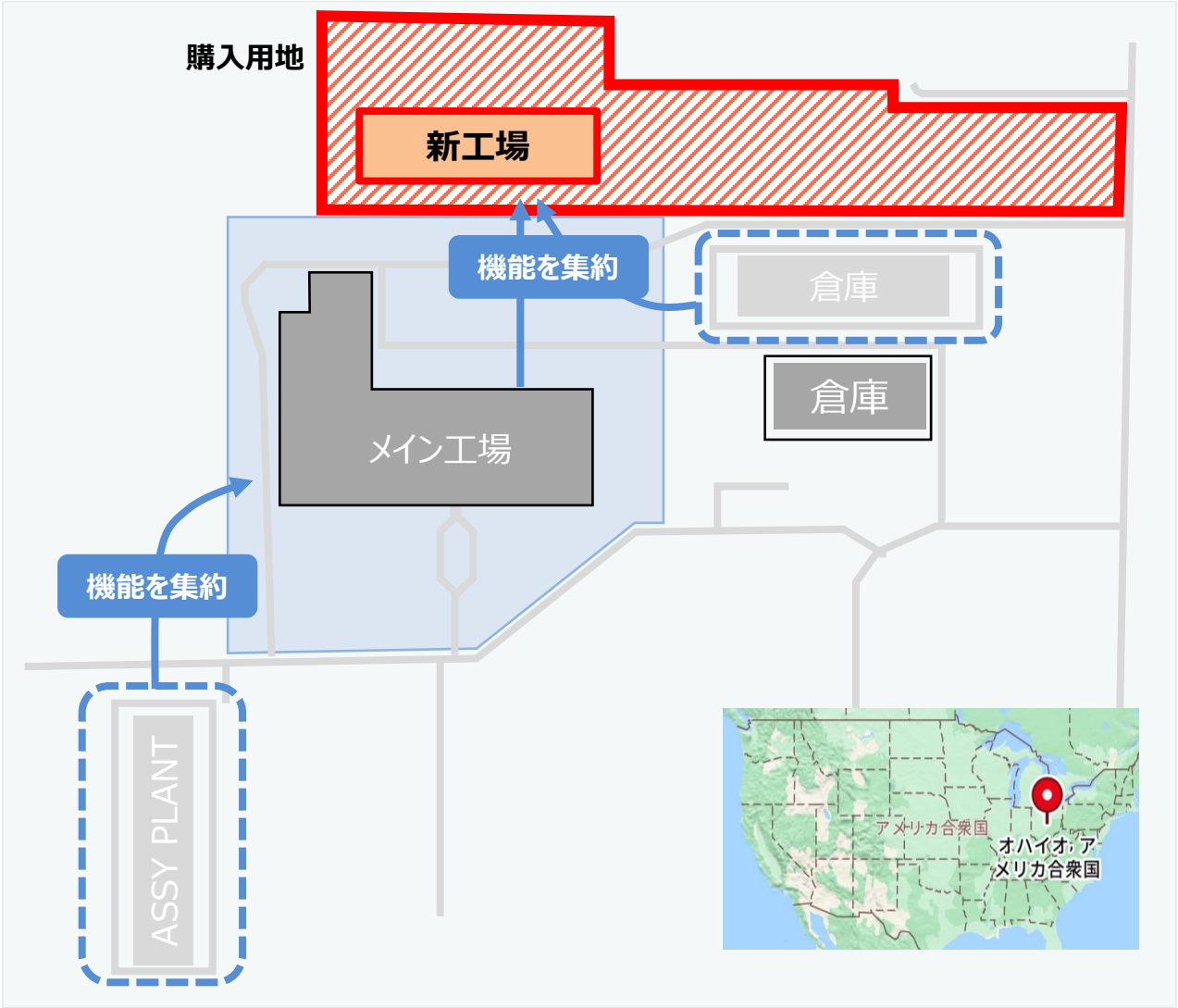
狙い

- 組立機能・倉庫機能の集約
- 工場内レイアウトの見直し
- 物流効率と生産性の向上
- HV関連製品の受注拡大と北米における競争力強化

投資の概要

名称	F&P America Mfg.,Inc. オハイオ工場 North Plant
土地面積	**86,603㎡**
建物面積	**16,351㎡**
投資予定額	約35百万米ドル（約55億円）
着工予定時期	2027年4月
稼働予定時期	2028年10月

機能集約とレイアウト最適化



Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

インドビジネスの事業展開

インドに戦略拠点「F-TECH R&D INDIA PRIVATE LIMITED」を設立

インドビジネス戦略

Step1 ～2026	提携先の製造体質強化	改善・原価低減活動への支援
Step2 ～2026	日系自動車メーカー継続・新規受注	新規受注の獲得 生産能力を確保
Step3 ～2027	R&D設置体制構築	既存取引先の開発領域に参入 現地メーカーにおける営業・ エンジニアリング・開発の評価体制を構築
Step4 ～2028	現地自動車メーカー新規受注	インド子会社／JV会社との協業によるビジネス拡大 新規TA／JV先との連携による生産能力確保

新拠点設立の概要

- 競争優位性の確保
- 提携先ネットワーク活用
- 最小規模での進出
- 現地ニーズに合わせ規模拡大
- 「営業×開発」で営業展開、顧客開拓



Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

ご清聴ありがとうございました

Thank you for your attention!

本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、
潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により、実際の業績と記述している将来見通しは、大きく異なる可能性があることを
御承知おき下さい。

The future outlook and earnings forecasts in this document are made based on the information available at the moment, and they include potential risks and uncertainties.

As a result, please bear in mind that actual business performance may substantially differ from the stated future forecasts due to changes in various factors.

「エフテック」で検索
https://www.ftech.co.jp

IR情報のお問い合わせ、取材お申し込みは
For inquiries on IR information, please contact:

株式会社エフテック　総務部/経理部
F-TECH INC. General Affairs Department/Finance and Accounting Department

代表TEL 0480-85-5211　Mail webmaster@ftech.co.jp

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

Appendix

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

Appendix ～連結貸借対照表（2026年9月期末実績）～

	2026年3月期 実績	2027年3月期 2Q実績	増減
現金及び預金	18,726	19,077	351
受取手形・売掛金	34,824	33,171	▲ 1,653
棚卸資産	27,522	29,072	1,550
その他	3,019	3,022	3
流動資産	84,093	84,343	250
有形固定資産	81,464	80,801	▲ 663
無形固定資産	681	689	8
投資その他資産	16,396	17,260	864
固定資産	98,542	98,751	209
総資産	182,636	183,095	458

利益剰余金	26,341	28,353	2,012
有利子負債残高	68,954	66,559	▲ 2,395
有利子負債依存度	37.8%	36.4%	-1.4%

	2026年3月期 実績	2027年3月期 2Q実績	増減
支払手形・買掛金	25,443	26,362	919
短期借入金	28,656	30,278	1,622
1年以内長期借入金	12,241	11,559	▲ 682
その他	13,803	12,901	▲ 902
流動負債	80,145	81,101	956
長期借入金（社債含）	24,860	21,591	▲ 3,269
その他	5,942	5,980	38
固定負債	30,803	27,571	▲ 3,232
負債合計	110,948	108,673	▲ 2,274
株主資本合計	39,482	41,472	1,990
その他包括利益累計	18,644	19,524	880
非支配株主持分	13,560	13,424	▲ 136
純資産合計	71,687	74,421	2,734
負債純資産合計	182,636	183,095	458

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

2026年度上半期の受賞実績

※敬称略



2025 優秀パフォーマンス賞

Denso より
INDIA STEEL SUMMIT（インド拠点）受賞



総合パフォーマンス最優秀サプライヤー賞

Toyota Boshoku Device India より
INDIA STEEL SUMMIT（インド拠点）受賞



コア・ビジネスパートナー認定証

Denso International India より
INDIA STEEL SUMMIT（インド拠点）受賞



優良品質賞

Mitsubishi Motors Thailand より
F-TECH THAILAND（タイ拠点）受賞



総合最優秀パフォーマンス賞

Denso Haryana より
INDIA STEEL SUMMIT（インド拠点）受賞



サプライヤーパフォーマンス賞

Mitsubishi Motors Philippines より
F-TECH PHILIPPINES（フィリピン拠点）受賞



インド地域ベストサプライヤー賞

Toyota Boshoku Asia より
INDIA STEEL SUMMIT（インド拠点）受賞



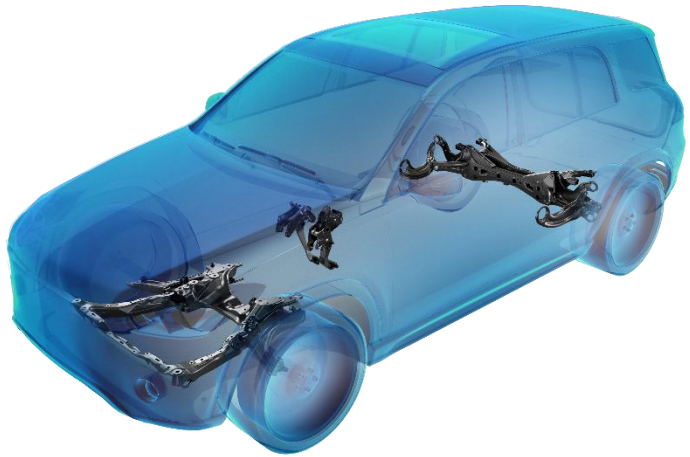
最優秀サプライヤー賞（品質保証体制）

SUZUKI INDOMOBIL MOTOR より
PT. F.TECH INDONESIA（インドネシア拠点）受賞

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

Appendix ～会社概要～

会社名	株式会社エフテック
市場区分	東証スタンダード（7212）
資本金	67.9億円
代表者名	代表取締役社長　福田 祐一
売上高（連結）	2,918億円（2026年3月期）
従業員数（連結）	8,961人（単体：971人）　※単体：国内エフテックのみ（子会社、海外駐在員含まず）
設立年月日	1947年7月1日
本社所在地	〒346-0194 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地
主要取引先	本田技研工業株式会社、ゼネラルモーターズ社、トヨタ自動車株式会社、 日産自動車株式会社、etc.
主要製品	自動車向け足廻りサスペンションアーム、 サブフレーム、アクスルビーム、ペダルコントロール等



2026年3月末現在

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

Appendix ～沿革～

創業期（1947-1964）	四輪事業創業期（1965-1987）	得意先・事業地域多様化期（1988-1999）	グローバル展開拡大期（2000- 現在）

1947
福田製作所
金属玩具
製造開始



1959
ホンダ取引開始



2輪部品
製造開始

1964
福田プレス工業に
改称

1965



4輪部品
製造開始

1967



亀山事業所量産

1978



本社移転　久喜へ

1986



F&P Mfg
（カナダ）設立

1988
エフテックに改称

1991
三菱取引開始

1993



F&P America設立

1994



Ftech Philippine設立

1995
日産車体取引開始

1996
株式店頭登録

1997
Dyna-Mig設立

1999
ダイハツ取引開始

2000　日産取引開始
F&P Georgia Mfg.,Inc設立

2001　TOYOTA North America取引開始
スズキ取引開始
東証二部上場

2002　偉福科技工業（中山）設立

2003　R&D North America設立

2004　偉福科技工業（武漢）設立

2006　F-TECH MFG（THAILAND）設立
東証一部上場

2008
Ftech R&D Philippines設立
煙台福研模具設立

2011
偉福（広州）汽車技術開発　設立

2012
F&P MFG.DE MEXICO　設立

2013
PT.F.TECH INDNESIA　設立
Michigan/R&D NA Office　設立

2014
R&D NA Europe　Branch
設立

2018
F-TECH AUTOMOTIVE COMPONENTS
PRIVATE LIMITED 設立

2020
VEE GEE Auto Components
Pvt Ltd. へ共同出資

2021
トヨタ取引開始

2022
India Steel Summit
Private Limited子会社化
東証プライム上場

2023
F-TECH NORTH
AMERICA INC. 設立

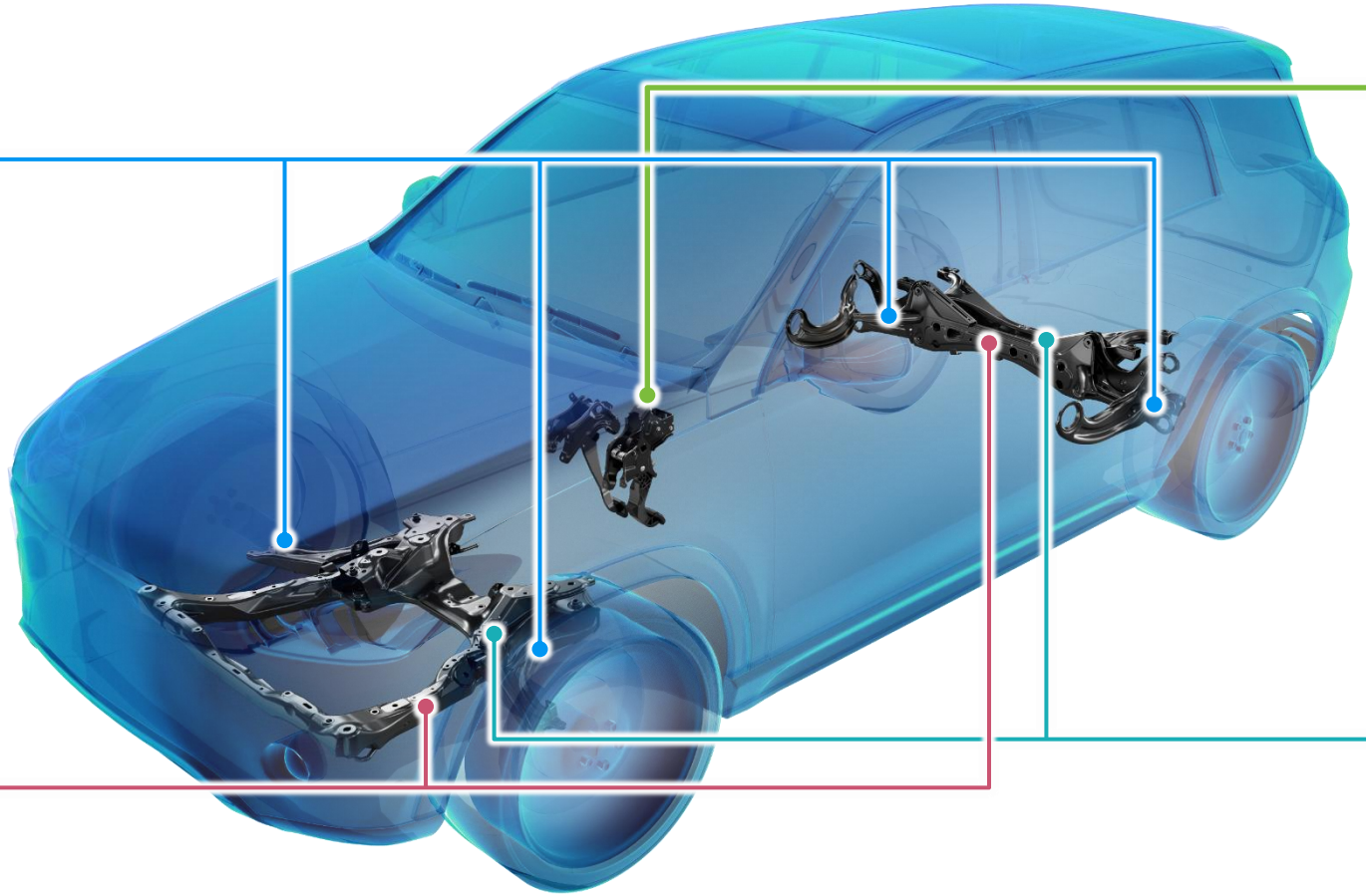
2023
東証スタンダード移行

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

Appendix ～当社の四輪部品～



サスペンション
部品





コントロール部品



マウント部品

RR



FR



モジュールアッシー

当社の製品は、「走る」・「曲がる」・「止まる」の基本機能を司る、
重要保安部品であり、より高い操縦安定性や乗り心地、
衝突時の安全性を考慮した最適仕様を提案します

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

Appendix ～当社の業容（シャーシ部品開発･生産）～

製品開発 → 塑性成形 → 接合 → 塗装 → 組立



製品の企画開発から量産まで、全工程を独自の一貫加工体制で対応、
圧倒的に競争力の高い製品をスピーディーに提供

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

Appendix ～当社グループの国内拠点～

（2026年4月1日時点）

【国内事業所】

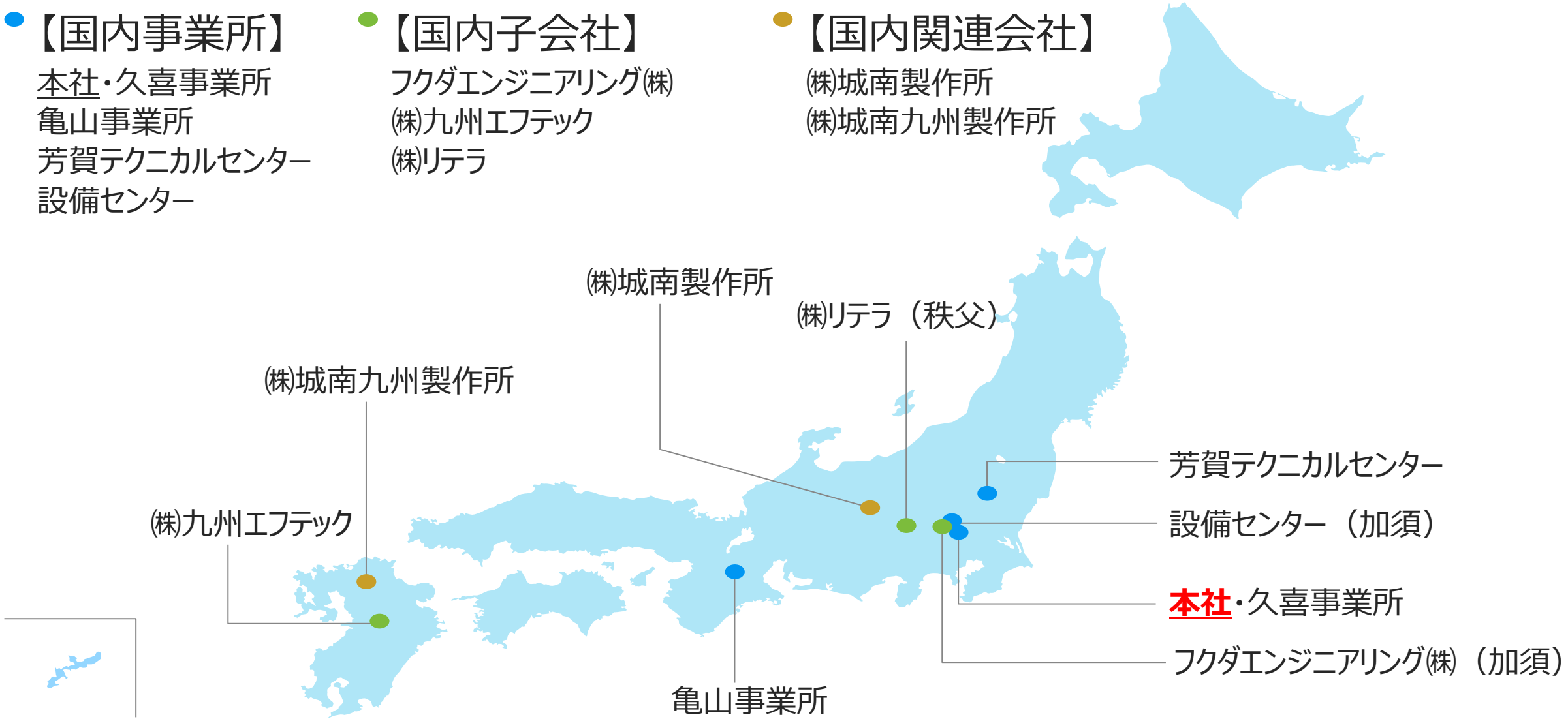
本社・久喜事業所
亀山事業所
芳賀テクニカルセンター
設備センター

【国内子会社】

フクダエンジニアリング㈱
㈱九州エフテック
㈱リテラ

【国内関連会社】

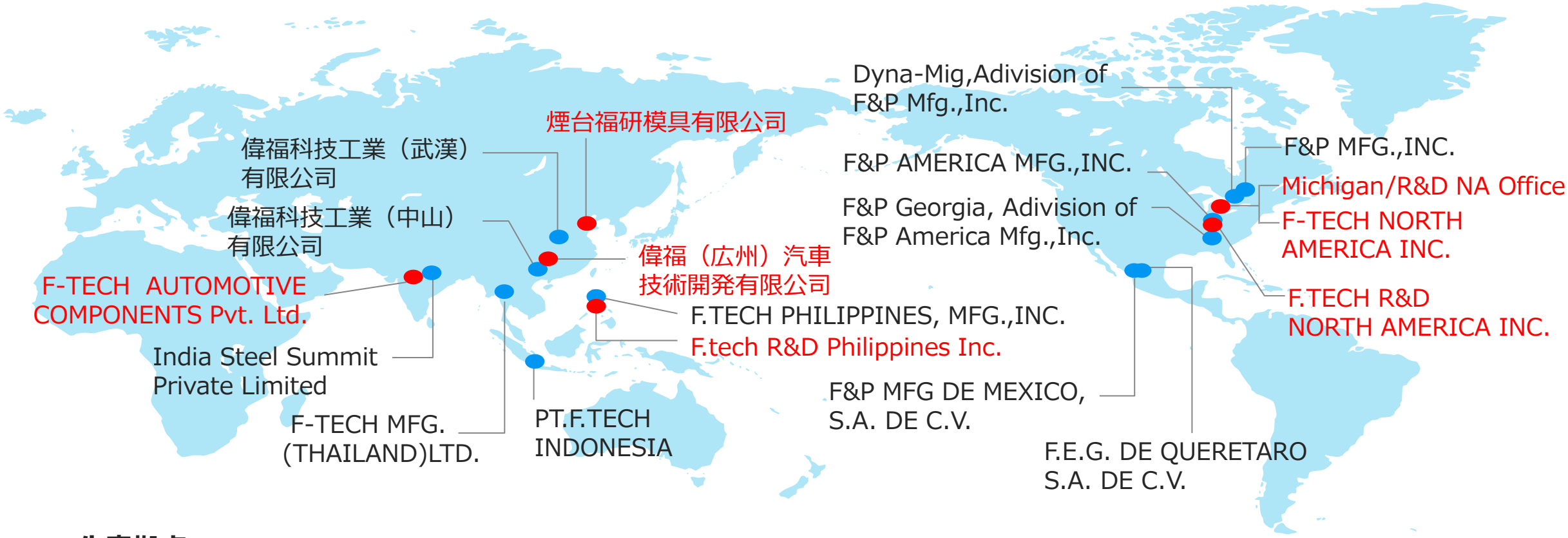
㈱城南製作所
㈱城南九州製作所



Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

Appendix ～当社グループの海外拠点～

（2026年4月1日時点）



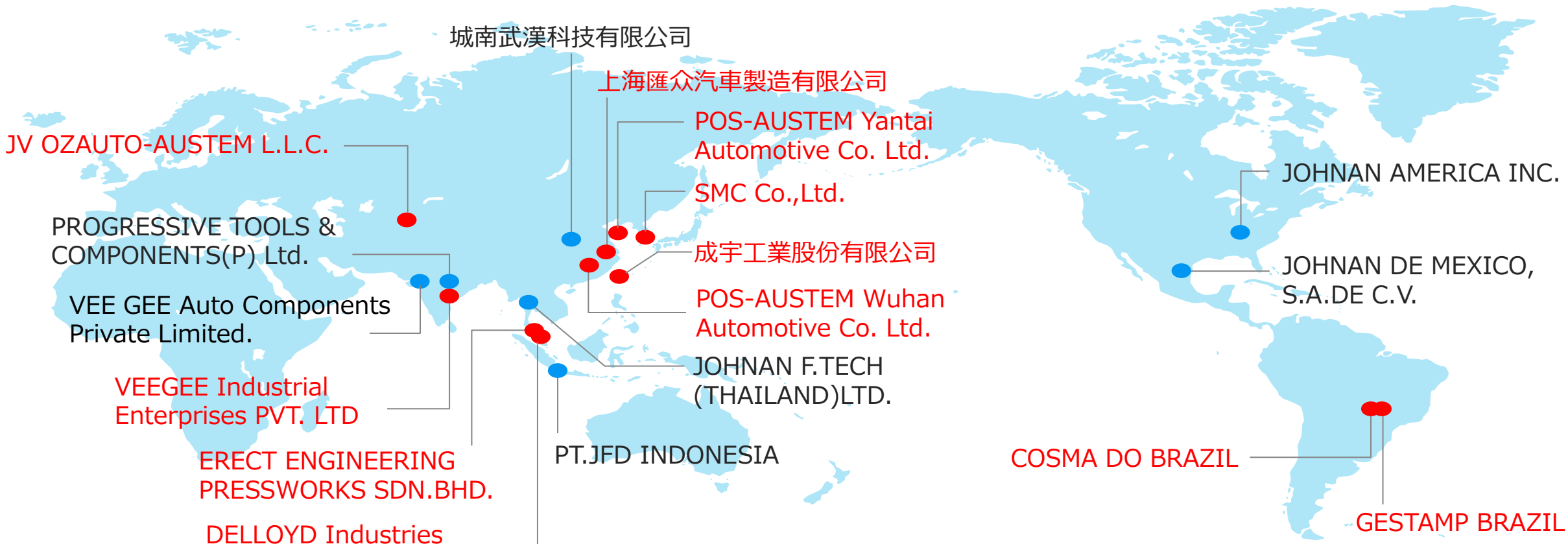
● **生産拠点**
北米（6工場）
中国（2工場）
アジア（4工場）

● **研究・技術開発・営業拠点**
北米（3拠点）中国（2拠点）
アジア（2拠点）

世界8カ国12生産拠点、7研究・技術開発・営業拠点を展開

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved

Appendix ～当社関連会社、技術提携企業～ （2026年4月1日時点）



世界6カ国・1地域での提携関係により、当社製品の世界供給体制を構築

Copyright(c) 2026 F-TECH INC. All Rights Reserved